

**建築・空間分野 | 戸建住宅** 055

**五浦の家**  
(株)Life style工房



**概要**  
茨城県五浦、山の斜面に建つ漁師の住宅。「漁師は山に木を植える」と先祖が残した言葉と傾斜地の土地を受け継ぎ設計するため、極力既存の樹木を残す事をルールとした。将来的に建物は周りの景色と同化する事で存在感を消し自然と共存する事を目指している。敷地には新たに約60本の植樹を行い、森を育て海を豊かにする。自然の恵みを借り、そこにあるべき姿の建築を目指した住宅である。

◆<http://www.lifestylekoubou.com>  
**評価ポイント** 挑戦的な試みであり、構造もしっかりしている点を評価した。森と海の関係性を住宅建築を起点に考える、社会提案性の高い取組と言える。

**建築・空間分野 | 公共施設** 052

**秋田空港国内線旅客ターミナルビル2階再配置事業**  
秋田空港ターミナルビル(株)



**概要**  
「お客様が秋田の自然や文化を感じる空間で、ゆっくりくつろいで買い物したり、食事をしたり、楽しい時間をすごしていただく」ことを目的に、空港ビル2階フロアの改修事業に取り組み、その中で県産材である秋田杉の活用を図ることで、より秋田らしさを醸し出すことといたしました。木質化は秋田杉をビーアールするため、天然杉のオブジェや突板ガラスサンド・無垢源平張りなどできるだけ他で使用していない斬新なデザインを基本とした結果、グレードの高いものに仕上がりました。

◆[www.akita-airport.com](http://www.akita-airport.com)  
**評価ポイント** 素材の組み合わせや意匠性の工夫を凝らし、秋田杉のさまざまな表情が見られる空間は、空港という比較的長い時間を過ごす場所で、有効な手法と考えられる。

**建築・空間分野 | 量産型住宅** 056

**パワーホーム、フェニーチェホーム**  
ナイスホーム(株)、パワーホーム青森(株)、フェニーチェホーム南洋(株)、フェニーチェホーム気仙沼(株)、フェニーチェホームいわき(株)、フェニーチェホーム東北(株)、フェニーチェホームほつりビング(株)、フェニーチェホームいわき(株)、パワーホーム大阪(株)、ナイスホーム四国(株)、パワーホーム香川(株)、プレステージホーム沖縄(株)



**概要**  
パワーホームは、「30歳までに持てる一戸建住宅」をコンセプトとした「長期優良住宅」の認定基準を超える最高等級品質の木造一戸建住宅商品です。地震に強く環境にもやさしく、丈夫で長持ちという木の良さを生かしながらいままでの品質を高めています。フェニーチェホームは、パワーホームをベースに東日本大震災の被災者のニーズを受けて開発した復興応援型住宅です。土台、柱、梁といった構造材に岩手県産のカラマツ集成材を使用するなど、地元の職人が地域の木材を活用して施工することで被災地域の復興に貢献することを目指しています。

◆<http://www.nice-home.jp/>  
**評価ポイント** 住宅の仕様としては一般的なものであるが、被災地の木材、人材を活用した家づくりの仕組みとして応援したい取組である。

**建築・空間分野 | 公共施設** 053

**みなとパーク芝浦**  
(株)NTTファシリティーズ、港区



**概要**  
港区による大規模公共複合施設である。都心で全国の協定自治体による木材を積極的に使うことでCO<sub>2</sub>固定化と地方林業の活性化に寄与する「みなとモデル」を推進するモデルケースとして、同制度策定と並行して計画が進められた。防災機能やメンテナンス性を高める一方、低炭素化施策の展開と木と緑を中心とした「自然を身近に感じられる環境づくり」に力点を置いている。

◆港区公式HP:<http://www.city.minato.tokyo.jp/>  
みなと森と水ネットワーク会議HP:<http://www.uni4m.or.jp/>  
**評価ポイント** 都心の大規模建築で他に例を見ない木材使用量とトレーサビリティの確保を実現した、社会的意義の高い取組。1施設当たり、20以上の自治体の木材を適材適所で用いることで、都市と林業地域を結び付け、木材生産や流通への関心を高める役割を担っている。

**建築・空間分野 | 屋内空間** 057

**ECO PRODUCTS 2011 FAIRWOOD PARTNERS&NOMURA BOOTH**  
(株)乃村工芸社、フェアウッド・パートナーズ



**概要**  
エコプロダクツ2011において合法で持続可能な木材の使い方を伝える「フェアウッド」の理念を訴求するためにフェアウッド・パートナーズと乃村工芸社が共同出展した展示ブース。「木の流れから、未来をつくる」をコンセプトに伐採地の森林やその周囲に暮らす人々に配慮した木材の選び方や使い方、リユースなどが、世界と日本の森を元気にすることをメッセージ。空中に浮かべた2000本におよぶ木々、一本一本どこから来てどこに行くのかを記したシンプルなデザインで、木との対話を生み、木の価値と可能性を直感的に理解させるものにする事ができた。

**評価ポイント** シンプルなデザインは、逆にそれを見る者にとって想像力を喚起する仕掛けになる。直観的に感じる造作は、その背景にある社会課題を深く考える契機となる。

**建築・空間分野 | 公共施設** 054

**早川町役場**  
早川町役場、(株)佐野建築研究所、(株)イトーキ



**概要**  
利用職員数は約40名、床面積は1,500㎡程度の山間地にある庁舎である。地下1階と地上1階がRC造、2階が木造の混構造である。1階の一部も木質化を図り、利用している木材の大部分が町内産である。内装材は節のある部分をあえて用いて木材の利用価値を高めた。観光資源をイメージしたデザインの備品を設置するなど、公共スペースをショールーム的にすることで、木材利用の波及効果も図っている。さらに町内の園児・小中学生を招いて現場見学会を開いたり、町をイメージする絵を書いてもらい外構テラスに転写するなど、未来へ人を繋げる取り組みも行った。

◆<http://www.town.hayakawa.yamanashi.jp/index.html>  
**評価ポイント** 県内業者による流通・加工を徹底した手法に共感する。町民や園児、小中学生を対象に、木造庁舎の特徴、地域材の使われ方、材種の香りや色合いなど、関係者の協力を得た体験型ワークショップを実施したプロセスも良い。

**建築・空間分野 | 学校** 049

**鹿沼市立粟野小学校**  
(株)フケタ設計



**概要**  
鹿沼市の西、周囲を里山で囲まれた旧粟野町の中心に位置する。使用した木材は地元の山で採れた原木を地場の製材所で加工した材料で、構造体は杉と松の無垢材を在来工法でつくることを基本とした。外観は切妻屋根とし、校舎と屋内運動場を3つの棟に分けて構成している。校舎棟の中心には3つの吹抜として、昇降口の延長にある「歴史展示ホール」、光りと風が入る「光り庭」、様々な使い方のできる「夢階段」と名付けられた多目的のステップがある。これら吹抜を囲う行き止まりのない回廊プランになっており、その回廊に本棚や読書スペースを配置した。

◆<http://www.fuketa.com/works/h24248/h24248.html>  
**評価ポイント** 「地材地建」をコンセプトに建築された、在来木造建築の小学校。インパクトの強い多目的ステップは、さまざまな使い方が想起され、子どもたち自身のアイデアの発生源になり得る。

**建築・空間分野 | 保育園・幼稚園** 046

**清里聖ヨハネ保育園 森の保育園建設プロジェクト**  
公益財団法人キープ協会 清里聖ヨハネ保育園



**概要**  
八ヶ岳南麓標高1300mの清里高原。地区の子ども人口が減少する一方で、子育て世代の田園回帰組やタウン組に定住先として選ばれている。そんな高原の森の中に佇む、ちいさな認可保育所「清里聖ヨハネ保育園」。園舎の老朽化に伴い、地方における子育てや暮らしの希望となる保育園の再構築と、活気ある地方のコミュニティ再構築を目指し、周りの森の木を伐って、手間を掛けて新園舎の改築をするという「森の保育園プロジェクト」に保育園スタッフと保護者や地域住民が丸となって取り組んだ。改築の過程で人が豊かになれることに取り組んだプロジェクトでもある。

**評価ポイント** 未来を担う子どもを育む、森の保育園の建築にあたり、関係者の参画によって実現したプロジェクトである。時間軸を見据えた余白をあえてつくることで、関わり続ける仕組みを提案する、ソーシャルデザインである。

**建築・空間分野 | 病院・福祉施設** 050

**特別養護老人ホーム えびの涼風園 新館**  
(株)アトリエ9建築研究所



**概要**  
えびの涼風園は要介護3-5の自立生活の困難な方86床(個室)を対象とした施設である。入居者たちが自立を目指し、今を生きる力を生み出せる場とすることが目的である。県産杉材を使った建物は、外周に配した廊下を皆が集う憩いの場とし、軒の深い屋根や縁側、中庭を計画に取り入れ、住み慣れた家のような安らぎを与えている。近くの河内川の氾濫に備えて高くなった床は室内からの風景への連続性を強めると同時に、この施設に於ける外観的構成の特徴でもある。

◆<http://www.atelier9.co.jp/>  
**評価ポイント** 木をうまく使った、シンプルで重厚感ある空間デザインが秀逸である。生まれ育った家のような環境を、という開発者の想いから、慣れ親しんだ風景がどこからでも見えるような工夫がこらされている。

**建築・空間分野 | 保育園・幼稚園** 047

**あゆみの森幼稚園**  
(株)象設計集団



**概要**  
屋久島にある小さな幼稚園の木造園舎2棟のプロジェクト。屋久島の環境、山、木のすばらしさ、大切さを伝えるため、環境と木の良さを活かしたのびのびとした保育空間を作るために、地域の技術、人々が作る園舎を設計、建設した。構造、仕上げのほとんどの部分に地材を用い、園児は伐採、製材所、建設現場など地域の人から多くを学んだ。杉の表情が地域の景観に映える園舎外観、杉ぼっくりをモチーフとしたランブシェード、集落の山をデザインした引出しなどによる、地域と「あゆみの森」らしい園舎は、子どもたち、地域全体から愛され、親しまれている。

**評価ポイント** 幼稚園の建設にあたり、伐採から建築の行程を園児に見学させ、地域の木材利用やそれに関わる仕事を学ぶというプロセスが良い。木製ステージや杉デッキテラスなど、地域の人々に開放されるコミュニティ空間も備えている。

**建築・空間分野 | 病院・福祉施設** 051

**清水障害者サポートセンターそら**  
しずおか木造建築研究会、特定非営利活動法人 清水障害者サポートセンターそら、酒井信吾建築設計事務所、(株)永田デザイン級建築士事務所



**概要**  
【建物用途】重症心身障がい児(者)対応生活介護事業所(デイサービス)【所在地】静岡県清水区【規模】木造平屋建て延べ床面積495㎡【特徴】①地域木造(企画、助成、木材調達、設計、施工、利用者がオール地元)②環境配慮型持続可能建築③地域防災拠点④学びの場【開発プロセス】地域資源(人材と木材)を活用し、地域福祉施設の在り方を提案、地域経済の活性化と産業の持続性、人材育成に貢献する『大きな木のおうち』づくりにより、国の掲げる木材利用促進に非住宅としてモデル的なケースとなった。【木材使用量】約110立米【竣工】2014年3月

**評価ポイント** 広い空間を木質化し、利用者の快適性を確保するとともに、運営者の視認性も高めている。木材調達から設計、施工を地元でこなし、学びを通じて地域とのつながりを強めるという考えが貫かれている。

**建築・空間分野 | 学校** 048

**智頭町立智頭中学校**  
(株)シェルター、(株)白兔設計事務所



**概要**  
周囲を1,000m級の中国山脈に囲まれ、豊かな自然と歴史文化遺産の残る場所に立つ中学校の改築計画。地域と共にある学校としての独自性を図り、情報通信教育や災害時緊急避難への対応、特別支援教育への対応など、機能の複合化を見据えた施設設計画としている。智頭町は全国でも有数の杉の産地であり、基本構造は木造としている。地元智頭町産の杉材をふんだんに使用した新しい校舎で、子どもたちが、生まれ育ったふるさとに対する愛着や、支えてくれる地域の方々への感謝の気持ちを持ち、その思いが継承される建物になることを目指した。

◆<http://www.kes.ne.jp/LargeScaleCasebook/index.html>  
**評価ポイント** 大規模な中学校建築物で、これだけの木材使用量は評価に値する。なまこ壁や漆喰、瓦屋根など、かつての宿場町としての歴史や街並みに沿ったデザインは地域に溶け込む。